

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年 6月28日

大分市長 殿

提出者

住 所 大分市大字丹生193番地の6

氏 名 株式会社 センコー企画

代表取締役 阿南 宣弘

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 097-593-3633

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 センコー企画
事業場の所在地	大分市大字丹生193番地の6
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,700 t	全処理委託量	5,700 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	5,700 t
自ら中間処理により減少する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投棄処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

大分市役所
産業廃棄物対策課

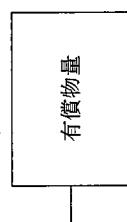
4.6.28

交付

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:
)

汚泥



項目	実績値
①排出量	1,943

項目	実績値
②自ら直接再生利用した量 ③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	1,943

項目	実績値
④自ら中間処理した量	1,943
⑤⑥自ら熱回収を行った量	1,943
⑦自ら中間処理により減量した量	1,943
⑧自ら埋立処分を行った量	1,943
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	1,943
⑩全処理委託量	1,943
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,943
⑫再生利用業者への処理委託量	1,943
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1,943
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	1,943

項目	実績値
⑩自ら中間処理した後再生利用した量 ⑪⑫⑬⑭自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	1,943

項目	実績値
⑪⑫⑬⑭自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	1,943
⑮自ら中間処理した後自ら中間処理した後	1,943

⑯⑰⑱⑲自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	1,943
⑳⑳⑳⑳自ら中間処理した後自ら中間処理した後	1,943
㉑㉑㉑㉑自ら中間処理した後自ら中間処理した後	1,943
㉒㉒㉒㉒自ら中間処理した後自ら中間処理した後	1,943
㉓㉓㉓㉓自ら中間処理した後自ら中間処理した後	1,943

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑯のうち再生利用業者への処理委託量

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑪のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫

項目 実績値

項目 実績値		自ら中間処理 した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨	自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑪	自ら中間処理した後 自ら熱回収によ り減量した量 ⑦	自ら中間処理した後 自ら中間処理した後の 処理委託量 ⑩	自ら中間処理した後 自ら熱回収を行った量 ⑤	自ら中間処理により減量し た量 ⑥	自ら中間処理により減量し た量 ⑦	自ら中間処理により減量し た量 ⑧	自ら中間処理により減量し た量 ⑨	自ら中間処理により減量し た量 ⑩	自ら中間処理により減量し た量 ⑪	自ら中間処理により減量し た量 ⑫	自ら中間処理により減量し た量 ⑬	自ら中間処理により減量し た量 ⑭	
①排出量	3																	
②+⑧自ら再生利用を行った量	3																	
⑤自ら熱回収を行った量																		
⑦自ら中間処理により減量した量																		
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量																		
⑩全処理委託量	3																	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3																	
⑫再生利用業者への処理委託量	3																	
⑬熱回収認定業者への処理委託量																		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																		

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

木下

1

(産業廃棄物の種類:

量物償有

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

1,505
出庫

項目	実績値
①排出量	1,505
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海上洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1,505
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1505
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	

(第2面)

① 排出量	1,505	項目 実績値	④ 自ら中間処理 した量	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量	⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	1,505
② 自ら直接 再生利用した量		③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑤ ④のうち熱回収 を行った量	⑦ 自ら中間処理により減量し た量	⑩ 自ら埋立処分を行った量	⑪ ⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑧ 不要物等発生量		⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		⑩ 自ら中間処理により減量し た量	⑪ 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	1,505	⑫ ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑩ 自ら中間処理した後 再生利用した量		⑪ 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量		⑫ ⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量			⑬ ⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑭ ⑪+⑫自ら再生利用を行った量		⑮ ⑪+⑫自ら中間処理により減量し た量		⑯ ⑪+⑫自ら埋立処分を行った量		1,505	⑭ ⑪+⑫自ら再生利用 を行った量
⑮ ⑫自ら中間処理により減量し た量		⑯ ⑫自ら埋立処分を行った量		⑰ ⑪+⑫自ら中間処理により減量し た量			⑮ ⑫自ら中間処理により減量し た量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

不要物等発生量	
有償物量	

項目	実績値
①排出量	7,970

②自ら直接再生利用した量	
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
④自ら中間処理した量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑥自ら中間処理した後の残さ量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
⑧自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑨自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
⑩直接及び自ら中間処理した後の残さ量	
⑪うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑫うち優良認定業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	

②自ら直接再生利用した量	
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	

⑪うち再生利用業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者への処理委託量	7,970

⑪うち再生利用業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者への処理委託量	7,970

⑪うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	7,970

⑪うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	7,970

⑪うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	7,970

⑪うち熱回収認定業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	7,970

⑪うち再生利用業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者への処理委託量	7,970

⑪うち再生利用業者への処理委託量	
⑫うち熱回収認定業者への処理委託量	7,970

(第2面)

計画の実施状況

1

混合物

(産業)廃棄物の種類:

有價物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

項目	実績値
①排出量	1
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海上投棄処分を行った量	
⑩全処理委託量	1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。